

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市沼垂西3丁目
電話(243)0141

18年12月10日

市交渉「地域経済を振興し、住み続けられる新潟市をめざし、くらし・福祉・教育の諸施策の充実を求める要望」

11月27日大運動新潟市交渉を行ないました。その要望の一部と回答をご紹介します。

(1)市民の生活実態からみて高すぎる水準にある国民健康保険料を引き下げてください。そのためにも今年度減額された法定外繰入を復活してください。また国民健康保険への国庫負担を大幅に引き上げるよう国に要望して下さい。

(回答)平成30年度の国保制度改革により、市は県へ納付金を納め、県から保険給付費を賄うための交付金を受けるといふ新しい財政の仕組みとなりました。今後は、毎年度この納付金を賄うための保険料率を検討することになります。一般会計からの繰入れについては、国の指導に基づき、繰入項目を見直し、市が行う医療費助成事業に伴う国庫負担金減額措置分に限り、当面の間、繰入を行うことといたしました。来年度の保険料率については、加入者の保険料負担に配慮し、慎重に検討していきます。また、国庫負担の引き上げについては、市単独または政令市と共同で引き続き国へ要望していきます。

(2)子育て・高齢者支援健幸すまいリフォーム助成制度について①予算を増額してください。②補助限度額を20万円に引き上げてください。③工事業者は新潟市内に本社、本店のある法人と個人事業主に限ってください。

(回答)健幸すまいリフォーム助成事業は、昨年度、年度途中で予算が終了し、年間を通して申請を受け付けることが出来なかったことから、平成30年度事業においては、より多くの市民に利用していただくため、補助限度の見直しを行いました。今後も続く厳しい財政状況への対応が求められる中、予算の増額や補助限度額の引き上げは難しいものと考えます。また、工事業者の限定についても、トラブル防止等の観点からその住宅の工法を熟知した新築時の施工業者にリフォームを依頼するケースが多くあるため、市民の利便性を考慮すると難しいものと考えますが、より利用しやすい制度となるよう検討しながら良好な住環境の整備に取り組んでいきます。

日程

- ・12月11日(火) 税金・申告学習交流会
- ・12月14日(金) 婦人部三役会
- ・12月16日(日) クリスマスリース作り

税金や保険料などで差押えされる前に 納税緩和措置を活用しましょう!

これらの制度は一時に税金や保険料が払えない場合に申請して、納付する制度です。納付が大変な場合に活用しましょう。

①納税の猶予

- *災害や営業不振など予期せぬ事情が起きた場合
- *税務調査などで1年以上経った税金が発生した場合
(申告書の提出と同時に申請することが条件です)

②換価の猶予

- *差押え等で商売の継続や生活が窮するおそれがある場合
(納期限の6ヶ月以内の提出が条件です)

※また換価の猶予は行政庁の職権で行える制度もあります。こちらは納期限などの条件はありません。

猶予が認められると猶予期間の延滞金が減額されるなどのメリットがあります。提出する書類などの詳しい内容は事務所へお問い合わせ下さい。

大腸がん検診 結果配布はじまる

11月に実施された大腸がん検診ですが、検査施設より結果が届きました。事務局より、各支部の共済係の役員に渡され、ぼちぼちお手元に結果が届いている頃だと思えます。

検査結果を確認しましょう

結果通知がマイナス(一)の方は陰性ですので今回再検査は必要ありません。逆にプラス(十)の方は陽性となりますので再検査が必要となります。

再検査費用の助成について

共済会に加入している会員で、3カ月以内に再検査された方には、民商県連から5千円が支給され、さらに新潟民商共済会から上限5千円の助成が受けられます。

あわせて上限1万円の助成が受けられます。健康あつての商売です。各支部で声を掛けあい、陽性の人は必ず再検査を受けるようにしましょう。



くまがや支部 共済学習会



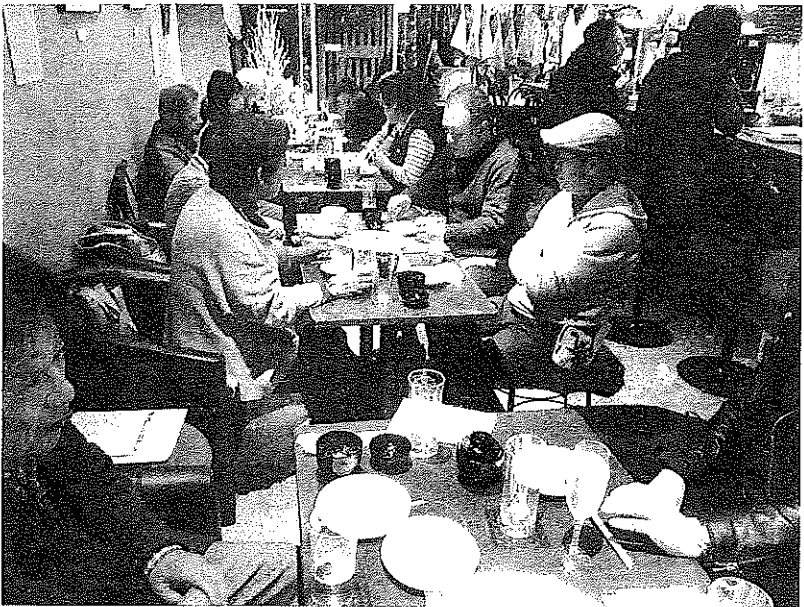
11月29日(木) 五徳屋さん(下本町市場の新店)で共済学習会を開き、17名が参加。包括支援センターの方が急遽来られなくなり、野本市議をピンチヒッターに迎えました。

高齢者のインフルエンザ有料化。後期高齢者の保険料が2割負担に。国保が9カ月での支払いに。など社会保障の改悪について語っていただき、「高額な差額ベット代を請求された」との相談に「病院の都合で個室に入った場合(大部屋があいていない等)は請求できない」と一緒に交渉した。タダになったとの話も聞くことができました。

民商共済会は、商工新聞で5つの魅力を読み合わせ、事業を継承した家族は、75歳以上でも継続して加入ができるように改善された点を学びました。

班活動のすすめかたも読み合わせ、消費税についても交流していききたいと呼び掛けました。

学習会の後は、雰囲気の良い洒落たお店で交流会。今回初参加は2名。中央支部から引越してきたTさんは忙しくて参加した事ありませんでしたが、足を手術し共済申請中で参加。たまたまHさんと同じ席で、「加茂出身」からTさんの息子さんがエステを経営している、以前Hさんの隣の店にいて知り合いという事が発覚!世の中狭いですね。



お店の2階で学習会後、1階で交流会。
花魁スタジオがあつたり、イベント多彩なお店です。

白根支部共済会学習会

11月18日(日)に、「加茂美人の湯」を利用して共済会学習会を開催しました。白根を10時頃出発し10名が参加しました。

学習会では、基本に戻って「共済会の歴史」「請求の種類や金額」「請求書の書き方」を中心に進めました。請求可能日数のあたりに力をいれて学習しました。

保険とは違い、共済会は「助け合いの制度」、目くばり、気くばり、心くばりの大切さを改めて感じました。

その後の懇親会では、「今年は参加が少なかった」など検当する要素はありますが「集まることが民商の魅力のひとつ」「この楽しさを参加していない会員に伝えていくにはどうすればいいのか話し合いました。

女池支部・山潟支部合同で

母親大会報告会を開催!

十一月三十日に女池・山潟両支部合同で、高知で開催された日本母親大会の報告会が、新入会員も含め十名の参加で、和合婦人部長と渡辺副部長を報告者に行われました。「高知の女性たちは早くから政治に興味を持ち日本初の女性参政権を実現した地で、女性運動の先駆けとなり、もろもろの制度を樹立してきた。母親運動にも力を入れていて、会場も熱気で溢れていた。」「分科会は各県の人からのメッセージを聞き、今まで知る事の無かった戦時中のことやその後の政府の対応に対して多くの要望、改善を求め話し合い、とても参考になった。」「来年は静岡県で開催。多くの人が母親大会に参加して全国の女性たちの運動を実感して欲しい。」などの報告がされ、参加者も関心を以て聞いていました。

また、女池支部では、十一月十六日に共済会学習会も開催されています。

